



## 第23回在宅医療勉強会



A microscopic image showing several cells with prominent nuclei, stained in shades of blue and green. The cells are of varying sizes and are scattered across the field of view.

# 目次

## 1. 在宅中心静脈栄養法指導管理料

在宅中心静脈栄養法指導管理料

留意点

在宅中心静脈栄養法輸液セット加算

高カロリー輸液の院外処方

## 2. 在宅気管切開患者指導管理料

在宅気管切開患者指導管理料

留意点

気管切開患者用人工鼻加算



## 在宅中心静脈栄養法指導管理料

月1回 3000点

在宅中心静脈用輸液セット加算 2000点

在宅中心静脈用輸液セット

(1)本体	1400円
-------	-------

(2)付属品	
--------	--

フーバー針	419円
-------	------

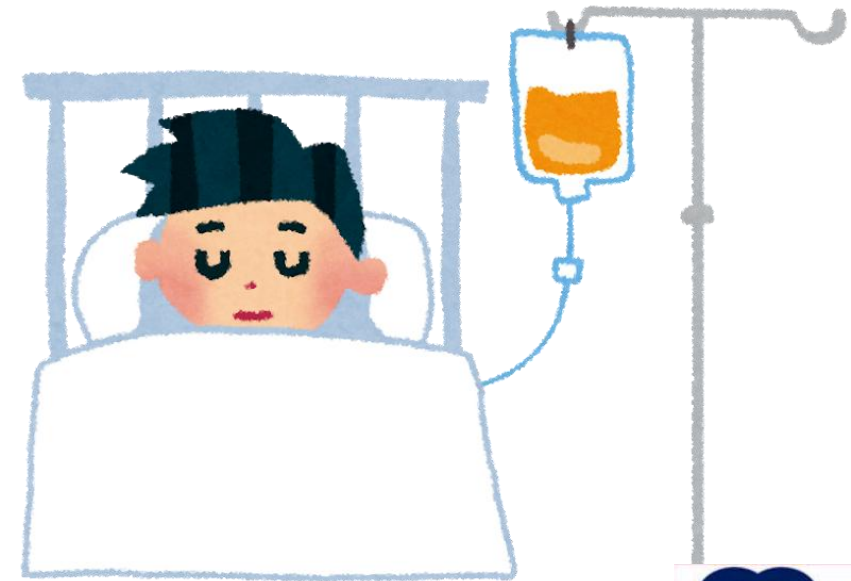
輸液バッグ	414円
-------	------

# 在宅中心静脈栄養法指導管理料

## 在宅中心静脈栄養法とは

諸種の原因による腸管大量切除例または腸管機能不全例などのうち、安定した病態にある患者について、在宅で療養する患者自らが実施する栄養法のこと。

在宅中心静脈栄養法を行っている入院中以外の患者に同法に関する指導管理をした場合、在宅中心静脈栄養法指導管理料を月1回算定できる。



## 留意点

在宅中心静脈栄養法指導管理料を算定している患者については、中心静脈注射及び植え込み型カテーテルによる中心静脈注射の費用や、在宅患者訪問診療料算定日における静脈内、点滴注射及び植え込み型カテーテルによる中心静脈注射の費用(薬剤、特定保健医療材料を含む)は算定できない。当該指導管理に係る薬剤以外の薬剤や特定保健医療材料の費用は別に算定できる。

## 留意点

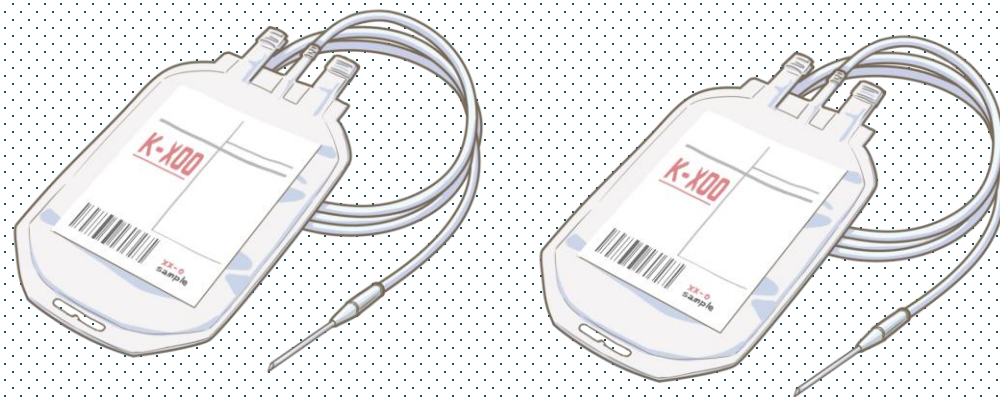
在宅患者訪問点滴注射管理指導料との併算定はできない。中心静脈注射の費用は算定できないが、無菌製剤処理料は算定できる。高カロリー輸液や電解質製剤は在宅で使用できる注射薬として認められており、レセプトの「14 在宅」欄の薬剤の項で算定可能。



# 在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算

輸液セットとは、輸液用器具(輸液バッグ)、注射器、採血用輸液用器具(輸液ライン)のこと。

在宅中心静脈栄養法輸液セットの費用については、1ヶ月に6組までの費用であれば、在宅療養指導管理材料加算に当たる在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算2000点を算定する。6組を超える分については、特定保健医療材料として費用を算定する。



7組目以降

特定保健医療材料

002在宅中心静脈栄養法用輸液セット

本体 1400円

フーバー針 419円

輸液バッグ 414円

使用した分だけ算定

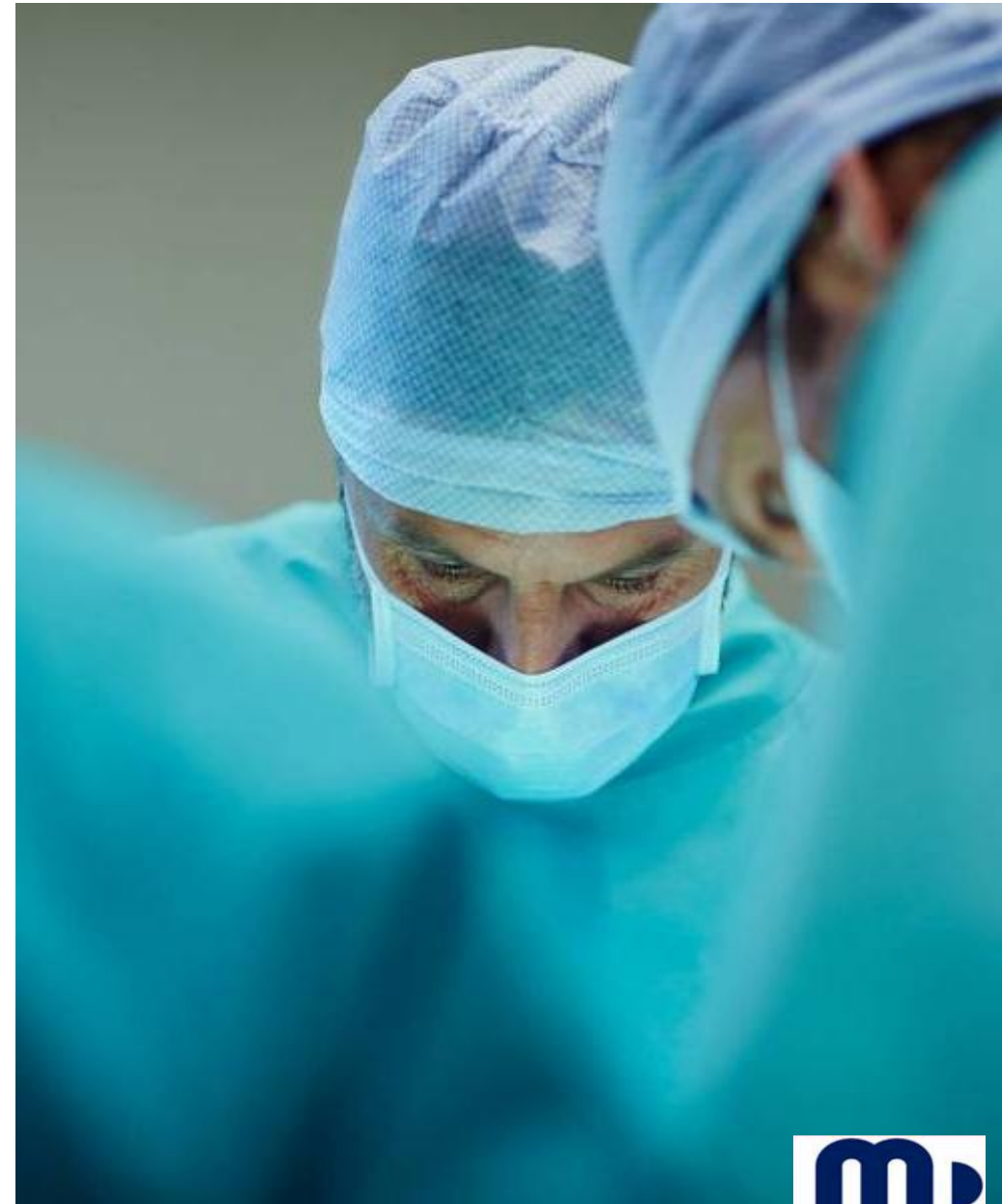
在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算  
(6組目まで) 2000点



# 高カロリー輸液の院外処方

高カロリー輸液や電解質製剤、死亡乳剤などについては、在宅で使用できる注射薬として定められており、処方箋を交付して薬局の薬剤師に感化に持参してもらうことも可能。

高カロリー輸液で、市販の輸液製剤に各種の添加物を加える輸液調整をする場合は、薬局に無菌調剤室などの設備が必要となる。地域にこのような薬局が無い場合は、混注薬のみ院内から交付し、在宅での輸液調整を患者や家族に指導するか、訪問看護師に指示をして調整する。





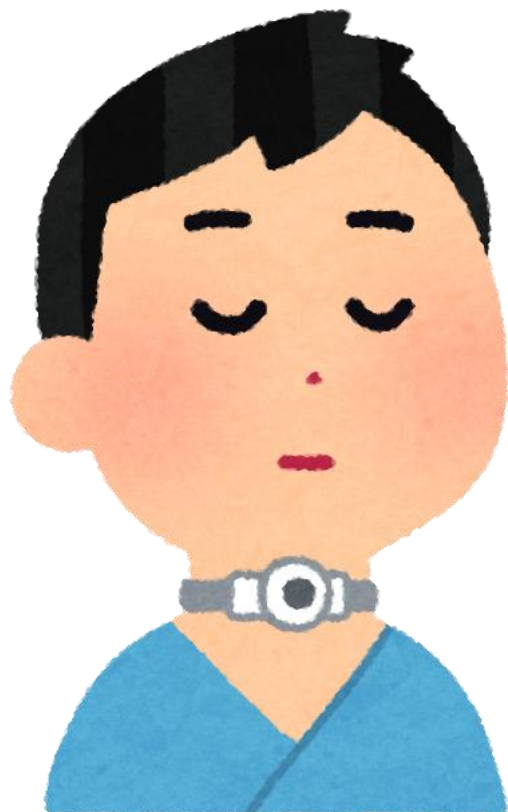
**在宅気管切開患者指導管理料**

**月1回 900点**

**気管切開患者人工鼻加算 1500点**

# 在宅気管切開患者指導管理料

諸種の原因により気管切開を行った患者のうち、安定した病態にある退院患者に対して気管切開に関する指導管理を行った場合、在宅気管切開患者指導管理料を月 1 回算定できる。



## 留意点

在宅気管切開患者指導管理を実施する医療機関または緊急時に入院するための施設は、次の機械及び器具を備えなければならない。

- ①酸素吸入設備
- ②レスピレーター
- ③気道内分泌物吸引装置
- ④動脈血ガス分析装置(常時実施できる状態のもの)
- ⑤胸部X線撮影装置(常時実施できる状態のもの)

## 留意点

在宅気管切開患者指導管理料を算定する患者では、創傷処置、喀痰吸引など関連する処置料は算定できない。

**創傷処置(期間内ディスポーザブルカテーテル交換を含む)、爪甲除去(麻酔を要しないもの)、穿刺排膿後薬液注入、喀痰吸引、干渉低周波去痰器による喀痰排出**



# 気管切開患者用人工鼻加算

在宅気管切開患者指導管理料に対応する材料加算として、気管切開患者用人工鼻加算 1500点を算定できる。

人工鼻は微多孔性の紙などでできており、呼気中の熱と水分を一時的にとらえ、呼気時に放出することで加湿、加温を図るものである。

ご清聴ありがとうございました

次回勉強会

12月26日(金)13:00～

お困りごと、ご質問等ございましたら下記  
メールアドレスまでお気軽にご連絡ください。



[info@medical-takt.com](mailto:info@medical-takt.com)